



# 沖縄から海外販路を

# 切り拓く！



# 県産工業製品 海外販路開拓事業

令和元年度 事例集

公益財団法人 沖縄県産業振興公社  
Okinawa Industry Promotion Public Corporation

沖縄県  
OKINAWA PREFECTURE

CASE 05

株式会社 ASOVIVA  
製品名：日本乃音①ペン三線 ②各種デザイン三線 ③ミニムム三線

## 遊び心たっぷりの三線と オリジナル楽器 「日本乃音」を世界に

本事業に応募した  
きっかけを教えてください。

三味線と三線を一緒に、日本の三弦の和楽器として扱いたいと考え、三味線と三線の両方の特長を備えたオリジナル楽器を開発しまして、世界に広めていきたいと考えました。弊社単独でも採算が合えばいいんですが、諸外国を回って黒字化するには、やはり4年くらいのスパンが必要だと思います。それで、沖縄県産業振興公社さんに相談に伺いました。

海外展開して良かったこと、  
苦労したことはどんなことですか？

フランスのジャパンエキスポや、世界各地での日本フェスティバル、ハワイのオキナフンフェスティバルなどのイベントでプロモーションをしています。イベントへの出展料や渡航費などの8割を負担してもらえないのはありがたいです。海外イベントへの出展で黒字なのはハワイだけ。台湾ではイベントを主催しています。もし自社で行へたら、この2カ国くらいしか回れないと思います。ハワイは唯一沖縄系のイベントで三線を知ってる人たちがいるから、三味線をハワイのウチナーンチュにも発信してもらいたいというのがあります。日本国内だって、三味線と三線の区別がつかない人は多いんです。他の地域では、三味線も三線も知らない人に向けて、選択肢を増やすために、弾いてみたいと拳手する人を増やしたいと考えられています。いろんなタイプの三線を開発しているのですが、

製品の特長を教えてください。

三線と日本乃音の組み立て・製造を自社で行っています。弊社では伝統的な三線の他に、①オリジナル三弦楽器の日本乃音、②パーツの組み合わせが7億通りあるトロピケーションシリーズ、③板張りのウッドシリーズ、④ウクレレサイズのミニムムシリーズ、⑤調整が簡単で扱いやすいペグ三線などを製造販売しています。楽器の中でも三線や三味線はニッチな商品で、衣料品や食品品に比べたら、販売数が圧倒的に少ない。持ちたい人しか持ちたくないわけです。そうした状況で、一人でも多くの人に拳手してもらうためには、あらゆるツールを使い倒すべからずの気持ちです。

日本乃音は弾き方によって三味線のようにも、三線のようにも聴こえる楽器で、自由な発想で弾けるのが魅力。トロピケーションは、棹や胴、皮などの組み合わせをパソコン上でシミュレーションできるのがポイントです。そういうツールも使いながら、実際に世界各地へ足を運んで、お客様の感想だったりアイデアに御用聞きをすることも大切だと考えています。例えばハワイだったら、祖父母から受け継いだ三線の修理をしてほしいというニーズが相当あります。現場に行っ初めて見えてくることもあるんです。また、海外でギターなどの楽器をやっている人には、ペグ三線が売りやすいこともわかりました。伝統的なカラワイは初心者には調整が難しかったためです。



株式会社 ASOVIVA  
海外展開を考えている国/オーストラリア、フランス、イギリス、ハワイ、シンガポール、中国、タイ、台湾、カナダ



代表取締役  
山崎 陽太 氏

代表者：山崎 陽太  
設立：2010年  
資本金：300万円  
住所：読谷村字長浜815-3  
電話：098-958-7750  
URL：http://www.asobi-sanshin.com/  
振替年度：平成30年度

海外展開を目指す企業への  
メッセージをお願いします。

この事業を活用すれば、黒字に持っていけるかわからない場所にも挑めます。単独・単年度では見通しの立たない所に足を踏み入れられないんですけど、可能性を秘めている地域に行けるのは大きい。企業の成長に大きく加担してくれるので、参加しない手はないんじゃないかと思えます。

最後に支援を受けた感想をお願いします。

イベントへの出展費用や渡航費を出してもらえないのは、非常にありがたいことです。楽器の場合は輸送費も大きいので、補助はとても助かります。伝統楽器でありながらカスタマイズできるという点でも、三線はユニークな楽器。これからも三味線、日本乃音、三線が日本産の三弦楽器として広めていきたいですね。